

**製品名: FANCD2 (16Q3) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe10826**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.36mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:200-1:500,FC 1:100-1:200,IP 1:10-1:100
分子量	164kDa

**抗原情報**

遺伝子名	FANCD2
別名	FA D2; FA4; FAC D2; FACD 2; FACD; FACD2; FAD; FAD2; FANCD 2; FANCD; FANCD2; Fanconi anemia group D2 protein; FLJ23826; Protein FACD2; Type 4 Fanconi pancytopenia;
遺伝子 ID	2177.0
SwissProt ID	Q9BXW9
免疫原	ヒト FANCD2 の合成ペプチド

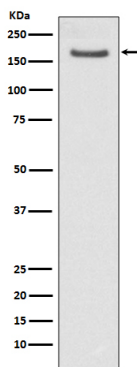
## 背景

染色体の安定性の維持に必要です。減数分裂中の相同遺伝子の正確で効率的な対合を促進します。相同組み換えと一本鎖アニーリングの両方による DNA 二本鎖切断の修復に関与します。染色体の安定性の維持に必要です。減数分裂中の相同遺伝子の正確で効率的な対合を促進します。相同組み換えと一本鎖アニーリングの両方による DNA 二本鎖切断の修復に関与します。DNA 損傷時の S 期および G2 期チェックポイントの活性化に関与する可能性があります。特に複製ストレス後の細胞分裂の終わりに、誤って分離したクロマチンの破損や損失を防ぐ役割を果たします。複製ストレスによって引き起こされる非セントロメア異常構造への BLM の標的化、または安定化に必要です。損傷したクロマチンへの BRCA2/FANCD1 のローディングを促進します。B 細胞免疫グロブリンアイソタイプスイッチにも関与している可能性があります。

## 研究分野

-

## 画像データ



HeLa 細胞溶解物中の FANCD2 発現のウェスタン プロット分析。